

公益社団法人和歌山県栄養士会活動方針

制定：令和7年6月7日

○和歌山県民の「栄養改善」と「健康づくり」について

すべての県民が生涯を通じて心身ともに健康で長生きするためには、社会とのつながりやこころの健康の維持、生活習慣病の発症・重症化を予防することが大切です。

そのため私たち栄養士会は「食」と「栄養」をもって県民の栄養改善や健康づくりに寄与するため次の活動を行います。

- ①健康的な日常生活をおくるためには、幼少期からの正しい食習慣の確立が重要となり、その普及に取り組めます
- ②高齢化の進展に伴う生活習慣病の増加や重症化の予防を「食」や「栄養」でサポートします
- ③低栄養や疾病に対応するため適切な栄養相談を行います
- ④和歌山県の食文化を守り、後世に伝えられるよう活動します
- ⑤私たち栄養士会員は社会的責任を果たすため、これらの業務を展開するとともに、常に資質向上に努めます。

○（公社）和歌山県栄養士会が行う災害支援について

日本栄養士会は、日本国内外で大規模な地震、台風等の自然災害が発生した場合、被災者の自立と心身の健康維持を目指し、迅速に被災地の医療・福祉・行政の栄養部門等と協力して、緊急栄養補給物資等の支援と多種多様な状況に適切に対応できる専門的な知識や技術の育成を目的とした研修会を行っています。

当栄養士会員もこれらの研修会を修了した者が JDA-DAT※リーダーとして、被災地支援を行っています。また、和歌山県と「災害発生時における栄養・食生活支援活動に関する協定書」を結び、県からの要請に対応できるよう体制整備を行っています。

私たち栄養士会は「JDA-DAT 和歌山」を組織しており、脅威となる南海トラフ大地震等の災害に備え、迅速な活動ができるよう県や市町村・関係団体と連携強化を図ってまいります。

- 1 私たち栄養士会は和歌山県民の「健康づくり」「栄養改善」に寄与します
- 2 災害発生等非常事態に備え「JDA-DAT 和歌山」の活動を強化します

※JDA-DAT：日本栄養士会災害支援チーム（The Japan Dietetic Association —Disaster Assistance Team）